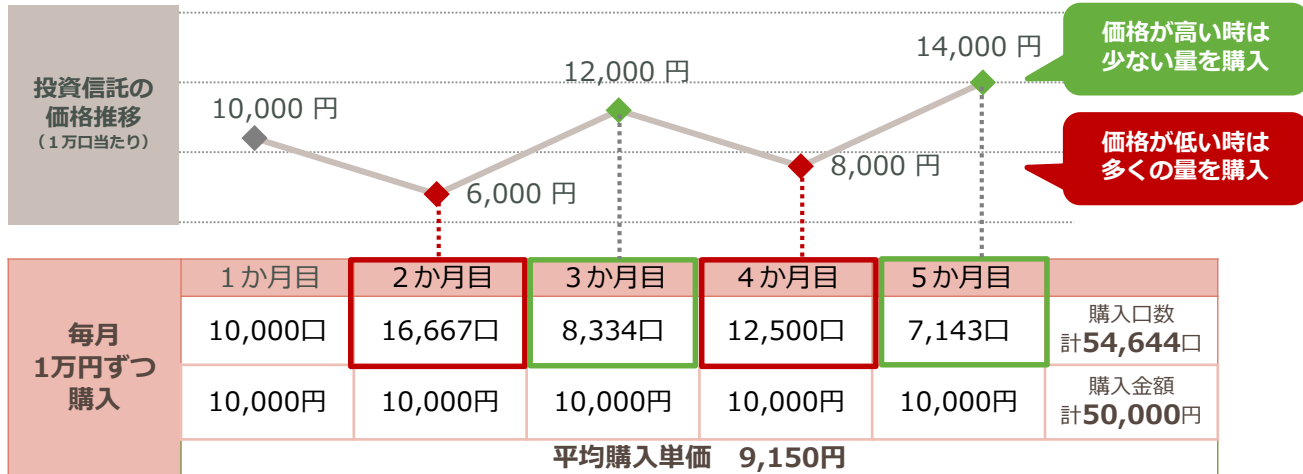


ちゅうぎん日経225インデックスファンド

積立投資なら一定金額ずつの投資を続けることで、「価格が高い時は少ない量、価格が低い時には多くの量」を購入することができます

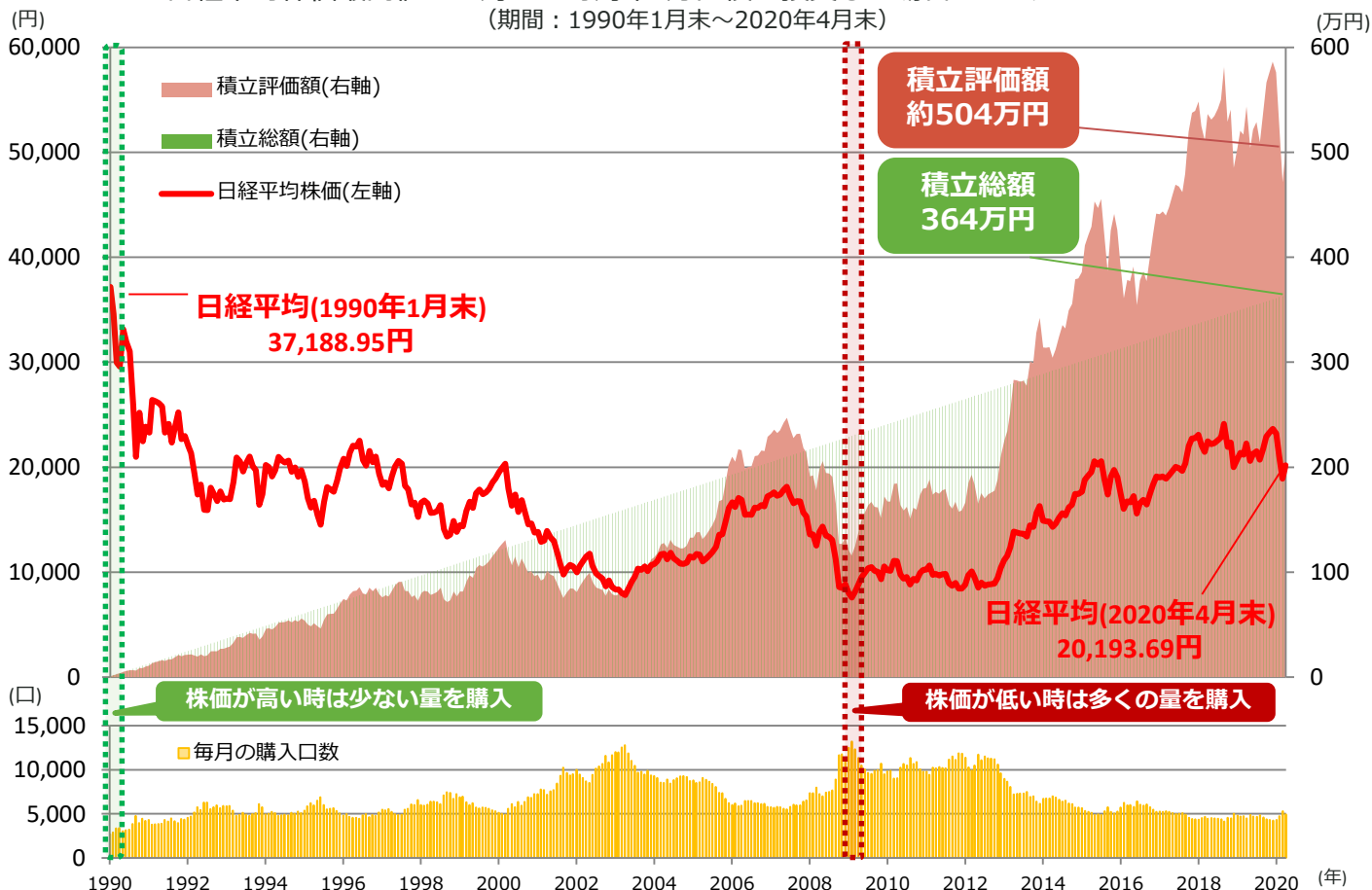
＜毎月1万円ずつ積立投資した場合＞



※ 上記は定額購入の一例であり、実際の値動き等を示すものではありません。口数の計算では小数第1位を切り上げ、平均購入単価の計算では少数第1位を四捨五入して算出しています。また、計算過程において税金・手数料等は考慮しておりません。実際の算出とは異なります。

日経平均株価最高値*の翌月から毎月1万円ずつ積立投資を行った場合、積立評価額は約504万円と積立総額364万円を上回りました

＜日経平均株価最高値の翌月から毎月1万円積立投資した場合のシミュレーション＞
(期間：1990年1月末～2020年4月末)



* 日経平均株価最高値 (終値ベース) : 1989年12月29日 38,915.87円

※ 上記は、日経平均株価を基準価額と仮定し、当初元本1口=1円として口数を計算しています。

※ 上記は、過去の実績または状況であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

※ 積立時期によっては、積立評価額が積立総額を下回る場合があります。

(出所) Bloombergのデータを基に中銀アセットマネジメントが作成

■当資料は、投資者のみなさまに当社ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、中銀アセットマネジメントが作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。■当資料に掲載しているグラフ、データ等は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。■当資料に示す意見等は作成日現在のものであり、将来の市場環境の変動または運用成果を示唆あるいは保証するものではなく、将来予告なしに変更する場合があります。■当社は当資料に含まれる情報から生じるいかなる責務(直接的、間接的を問わず)を負うものではありません。

ファンドのリスクについて

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」「金利変動リスク」「為替変動リスク」「信用リスク」「流動性リスク」「物価変動リスク」等があります。当ファンドは、実質的に国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。したがって、**投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではありません。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者のみなさまに帰属します。**

ファンドの費用について

- 購入時手数料 / 上限2.2%（税抜2.0%）
 - 信託財産留保額 / 上限0.4%
 - 運用管理費用（信託報酬） / 最大年率1.936%程度（税抜1.76%程度）
 - その他費用・手数料 / 監査費用、有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から支払われます。
- ・ 手数料等については、当社が運用する投資信託のうち、当資料作成日現在で徴収するそれぞれの手数料等における最高または最大の料率を記載しております。

投資者のみなさまにご負担いただく費用の合計額については、保有期間や運用状況などによって異なりますので表示することができません。ファンドに係る費用・税金の詳細につきましては、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

● その他の留意点

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。当ファンドは、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。また、販売会社が登録金融機関の場合、証券会社とは異なり、投資者保護基金に加入していません。

本資料は投資信託説明書（交付目論見書）ではありません。お申込みの際は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。